

第8号

発行年月日 平成元年3月31日
発行者 山内貞四郎
編集者 小林 秋朝
日本指圧専門学校同窓会
東京都文京区小石川2-15-6
〒112 TEL 03-813-7354
題字 山内貞四郎

日本指圧専門学校同窓会



会報

指圧の行商



日本指圧専門学校校長

母ごころの真髓

浪越徳治郎

「指圧を天下に広めよう！」

と、大望を抱いて、北海道から上京したのが、昭和八年三月で二十八歳の時だった。「人生創造」の石丸梧平先生の親指に金十万円也の傷害保険をかけて下さった恩人」を頼つての上京である。

その石丸先生からの紹介の名刺を頂き、それを持って訪問する。一度で面会できる人もいるが、二度も三度も訪問して面会が許される人もある。面会が許されると、石丸先生と私との関係とか、指圧について、ると説明して、納得がゆけばその場で指圧をする、または、日時を改めて参上する。こうやって、一人ひとり指圧のお得意を開拓したものである。云うなれば、指圧の行商である。

山本有三の難視

理学博士の石原純先生もお得意のお一人で、「アインシュタインの相対性原理」を日本で初めて解読した有名な先生だった。指圧が大好きで一カ月に十回は指圧を受けられる。私にとっては大切なお得意さんだった。

そのころ、朝日新聞に山本有三先生の「路傍の石」という小説が連載されていた。貧しい生まれの少年吾一が、苦難に耐えて誠実に生きて行く姿が描かれて、私は、毎朝、夢中で読んでいた。

ある日、「路傍の石」の終わりに「山本有三先生は最近目を患われ、執筆ができず、口述で、奥さんが筆記して原稿にしている」との記事を読んで、私は直感した。「指圧で治る、山本先生を指圧してあげよう」と、そのことを石原純先生に話したら「山本君は、東大時代、僕と同級だよ」と、おっしゃって直ぐに山本先生のお宅に電話をかけられた。

紹介者が、無二の親友で、理学博士である。一も二もなく「宜しく頼む」との返事である。その日のうちに石原先生に件われて山本有三先生のお宅に参上した。

当時、山本先生は、井之頭公園の万助橋を右に折れた所に、立派な洋館建ての邸宅に住んでいられた。早速、寝室に案内されて山本先生の指圧をした。予想通り、首と肩がコチコチに凝っていた。

「この首と肩のコチをほごせば視力は回復します」と、説明したら「どのぐらいやれば治りますか?」「三ヶ月ぐらい続ければ治ります」

「では、三ヶ月毎日来て下さい」と、云うことで、その日から毎日午後二時に参上して指圧を続けた。予言通り三ヶ月で山本先生の視力は回復した。山本先生は、すっかり指圧ファンになられ、いろんな方を紹介して下さいました。

母心の真髓

山本有三先生のご紹介で、中西悟堂先生の

坐骨神経痛を治して上げたことがある。

中西悟堂先生は、野鳥の研究者で知られたお方で、小鳥の呼び寄せの名人だった。中西先生のお宅に伺って驚いたのは、玄関の下駄箱から部屋の窓際、廊下から、二階への階段まで、小鳥の入った籠でいっぱいである。その籠の中の小鳥に、みんなそれぞれ名前がつけられている。中西先生は籠の前を通る度に、小鳥に話しかける。

「お松ちゃん、元氣かい」「お竹ちゃん、ご機嫌よう」「お梅ちゃん、お腹へったあー」

その小鳥の入った籠の戸を開けても、小鳥は、窓の方へは飛んで行かず、中西先生の肩の上止まる。

中西先生は、いつも着物を着て、その袂（たもと）には、ビスケットが入れている。小鳥が肩の上止まると、袂からビスケットを取り出し、ご自分の口に入れる、それをよく噛んで、小鳥に口移しで食べさせる。実にほほえましいのである。私はその情景を見て、思わず愚問を発した。

「先生、小鳥をなづかせるには、やっぱりエサですネー」

中西先生は即座に答えられた。

「エサも大切ですが、もっと大切なのは、愛情です」

小鳥は、糞便だけは仕付（しつけ）られない。随時、随所でビシャツと、やる。どんな小鳥の好きな人でも糞をかけられたら汚い！と感じる。

ところが、中西先生は糞を見た瞬間に、小鳥の腹工合を案じる。この「汚い！」と感じるのと、「腹工合を案じる」とでは千里の開きがある。「これが愛情です。思いやりです」と話された中西悟堂先生のお言葉は、まさに「母ごころの真髓」だと痛感した。



ご挨拶

同窓会々長 山内貞四郎

平成元年を迎えられ、会員のみなさんには指圧療法の技術の研究やその原理の開發などに向って、一層のご精進をなさっております。平成の意義につきましても、原典の解説や出典からくる意義などについて関係者やマスコミの間からいろいろな論評が加えられ、一時はどうなることかと心配させられる場面もありましたが、現在においては日本の現状に適した立派な年号として育っているように思われます。わたしなどは平成という年号が発表になった時、思わず拍手して平成という年号の前途を祝福したのでした。平成の「平」という字は漢方の方から眺めると、「健康」という意に用いられているからです。漢方では「存じのように、心身の健康な人を「平人」と呼んでいます。また漢方の診断などではよく脈診をしますが、「脈平」という時は「健康な脈拍を有する人」即ち「心身ともに健全な人」という意に解しています。平成の「成」は「成る、成就する、築く」という意に解されますから、「平成」とは心身の健康を築く年と解される素晴らしい年号になります。

招待した事により、先輩後輩の賑やかな談笑が始めより終了まで続いたことが、大きな原因の一つだったように思われました。在校生にとっては、先輩の先生方と一緒に会の運営に参加した喜びが大きかったのではなからうかと思えます。何れにしても在校生の招待は、同窓会の会の進展によい一石を投じたことになると思われます。

次に昨年度の会の事業について申し上げます。一昨年と同様、学術講演と会報の発刊でした。学術講演は浪越徹先生に「自分でできるスポーツ指圧」について、ご研究の三要点をわかり易く説明していただき、スポーツ指圧部位の急所をはっきりと説明して載いたので、得る所多大であったと思います。特にこの講演には、要所々々に実技を入れて解説されたので、スポーツ指圧の要領が実技と理論の解明ではっきりと理解されたのでした。会報につきましても、編集委員長の小林秋朝先生のものでいろいろと想を練り、会員諸氏に喜ばれる編集をと心がけて作成いたしましたので、よくお読みになって、ご叱正の箇所がありましたらぜひ一文を寄せてくださるようお願いいたします。尚第七号の編集後記は、小短文ですが、二十一世紀は手技療法の時代と巷間に噂されているような大きな内容を含んだ文面もとられますので、手技療法の将来について、ご検討下さるよう希望します。

最後に協賛金のことですが、みなさんのご協力によって、六十三年度も四十万円を超す四十一万八千四百円を協賛して載せました。誠に有難うございました。総計平成元年一月末日現在、壹百六十万貳千貳百十円となります。これらの金子は皆さんのご意志にそって一般会計に編入し、使用させていただいております。本年は前記のように、平成と年号が改められましたが、暦法によりますと「己巳」の年であります。己は「土の弟」、巳は「己」で動物のへびと解されます。

また己は五行（木火土金水）の「土」で、消化器の脾胃を現します。万物の育つ土を土台にして縦横に駆けめぐる強いへびの性を受けた年ということでしょうか。随って今年あまり働き過ぎると、消化器（脾胃）を悪くする恐れがある年と解されています。また、折角築いた財を使い果たす愚な行動にもつながると、暦法は解説しています。ほどほどに働いて、心身共に健康第一の平人に成ろうではありませんか。



▲1部 総会会場で和やかに審議
▲総会2部 懇親会、全員で乾杯

若い世代に期待かけ 同窓会総会 和やかに開催



昭和63年度同窓会総会会場にて全員で記念撮影 於 茗溪会館

日本指圧専門学校同窓会の昭和六十三年度通常総会（第一部）総会、講演会、第二部「懇親会」が六月十二日午後一時から文京区茗溪会館で開かれた。今年度からは在校生の、会への認識を深めてもらうため各クラス学級委員計十二名を招待する一方、懇親会司会も元気な若手会員にとりてもらうなど若い世代への大きな期待が前面に打ち出され、また

氏の祝辞があつて議長団選出に入る。司会者一任の声で鈴木孝雄（3期）小林彦太郎（15期）の両氏が議長席に着席。総会人員（会報発送・配布四三〇〇、うちハガキ出欠回答八一九〇）出席九六、欠席、七二三）報告と議長挨拶があつて議事に移る。

1、昭和六十二年度事業報告

幹事長 藤井正弘氏

2、同会計決算報告 青木 宏氏

3、同監査報告 小川 清氏

4、昭和六十三年度事業計画案 幹事長 藤井正弘氏

5、同 予算案 青木 宏氏

審議案はいずれも全員拍手で承認。上野副幹事長の閉会の辞で午後一時三十分昭和六十三年度総会を終わり、講演会に移る日本指圧専門学校副校長浪越徹先生の「スポーツ指圧」と題する講演があり、終つて全員がステージ前に集り浪越孝君による記念撮影のち午後二時三十分、第二部の懇親会に移つた。

司会は二十七期卒業の川原善次郎同内城勇造の両氏がつとめ。定祐寅一氏の音頭で乾杯、演芸に移つたが故郷武治郎氏四十九日法要から急ぎ帰つた浪越徳治郎名誉会長が挨拶に立ち「宴会に間にあつてよかつた。懐しい皆さんにあえたことは何より嬉しい。母心とは思いやりの心です……」と、笑いの祝砲三発で結ぶ元気を挨拶があり、日舞、朗詠、カラオケと楽しい賑やかな演芸が四時三十分まで続き、最後に校歌合唱で来年の元気な再会を約して和やかな同窓会を終つた。指の光・二六一号



講演中の浪越徹先生

受講者も自己指圧をしながら聴講講演者に合せてストレッチング

私たちの寿命がだんだん延びるにしがたが、特に中高年齢の人たちのスポーツ熱が大変高まっています。いつまでも若く、元気で長生きしたいと願つて、スポーツをして、体力づくりをすることは私も大いに賛成です。

筋肉に對して、いくらウォーミングアップの体操やストレッチングをしても、かえつて筋肉に無理な負担となります。自分の体力がトレーニング以前の状態になつてゐるのを自覚していない人が多いようです。そこで私が強調したいことは、指圧は病

講演 「スポーツ指圧」 浪越 徹先生の要旨



「講演中に自己指圧のデモストレッチングを主に頸部、肩背部、肩甲間部、及び上体の前屈、後屈、側屈、上肢、下肢のストレッチングを加え、思わず聴く側も講演者と同じように上肢や上肢が動き楽しく、有意義な講演でした。」

しかし、問題は、無理なスポーツをして体力を使うと、思わぬアクシデントを起こすことです。スポーツブームの裏で激増しているのが、スポーツによるアクシデント——事故外傷、障害などです。常に体をベストコンディションに保つためには正しいトレーニングが必要で、特に指圧をとり入れたトレーニングはさまざまスポーツに適しています。指圧によって筋肉に柔軟性と弾力性を与えてからストレッチングを併用すれば筋肉に持久力がつき、ベストコンディションづくりができ、アクシデントの予防と

「詳細については「自分でできるスポーツ指圧」成美堂出版、八八〇円が昨年三月発刊されている。」



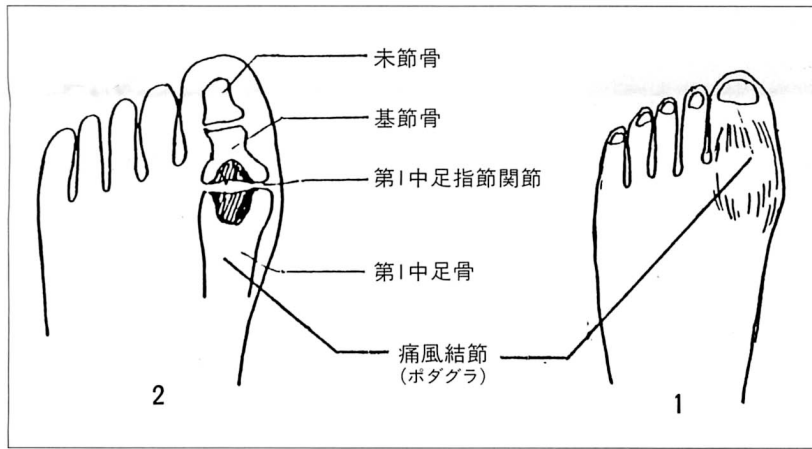
日本指圧専門学校

応病指圧法

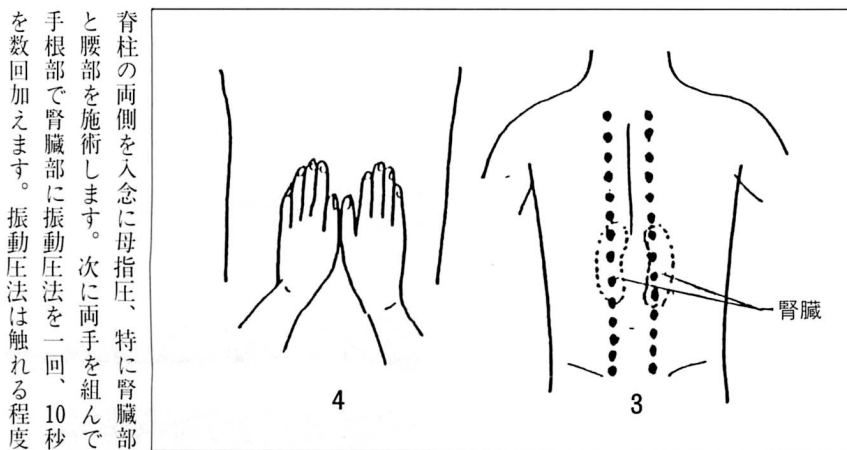
副校長 浪越 徹



この病名は患部に風が吹いてあたっても痛むという表現からきたものと思われ
ます。英語で GOUT「ガウト」といつて
ラテン語の「しずく」という意味で、毒性
のものがしずくとなってしたり落ちる
病気といわれ、西洋ではかなり古くから
みられた病気です。またぜいたく病(帝

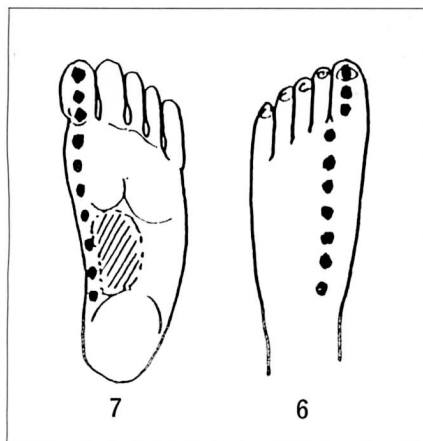


王病)ともいわれ過食、アルコール飲料
の多飲家の男性に多くおこり最近、日本
でも特に増えてきた疾患です。原因とし
てはタンパク質の代謝機能障害からおこ
る尿酸の増加でそれにアルコール飲料と
関連して血液中に尿酸がたまり関節炎を
おこして激痛を伴います。痛風が男性の
病気といわれるのは尿酸の増加が男性ホ
ルモンと関連するものとみられています。
尿酸塩が関節に沈着する好発部位は足
の母指のつけ根である基節骨と第1中足
骨の関節で第1中足指節関節の部位です。
ここは心臓から一番はなれていて足指で
は比較的大きな関節で血行がスムーズ
に行かないからです。この関節に炎症がお

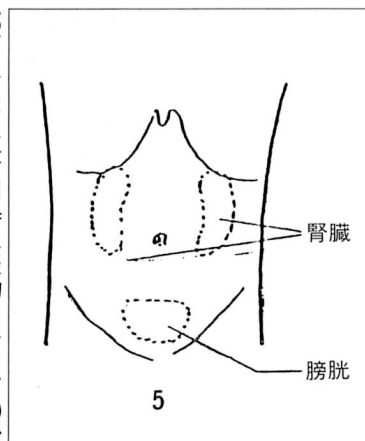


脊柱の両側を入念に母指圧、特に腎臓部
と腰部を施術します。次に両手を組んで
手根部で腎臓部に振動圧法を一回、10秒
を数回加えます。振動圧法は触れる程度

きて結節を生じだんだん拡張して骨が破
れて赤くはれて痛むわけです(図1・2)。
足指の痛風結節をポダグラ (Podagra)
といいます。
指圧治療では勿論、患部がはれて痛む
ときは施術しませんが発作がおさまった
ら施術部位として腎臓部の背部を掌圧し
ます(図3・4)。上体を前屈した姿勢で
一日中、仕事をしていると脊柱起立筋群
の緊張と共に脊柱の両側に位置する左右
の腎臓はどうしても圧迫をうけるわけ
機能に影響を及ぼします。
背部の腎臓部の掌圧を十分にしたらあと
振動圧法を一回、10秒を数回加えてから



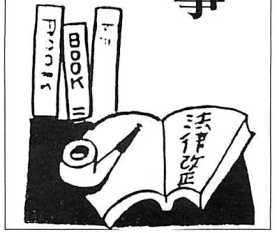
次に下肢全体を施術しますが特に母指
側の足背部と足底部、土踏まずの部位を
入念に母指圧で施術します。(図6・7)
以上の一連の指圧操作により痛風の再発
を防ぎ予防もできます。その他、食事の
バランス、歩行不足にならないよう、き
つい靴をはかないなどが肝要です。



の微振動です。
次に腹部の左右の腎臓にあたる部位、
左下肋部から下方と右下肋部と入念掌圧
をしてから振動圧法を各10秒、数回加え
てから腹部全体の母指圧、特に腎臓部と
膀胱部を入念に施術します(図5)。
次に両手指を組んで腹部の中心部(臍

点 日本指圧協会専務理事

第六期生 佐藤岩治郎



あん摩マッサージ指圧師 はり師、きゆう師等に関する 法律の一部改正する法律

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律（昭和二十二年法律第二百七十七号）を大幅に改正されました。

改正の目的は業界の地位向上、資格者（免許者）の資質の向上にあります。会員の中には旧法に基く免許者（既得権者）の立場はどうなるであろうか。改めて講習会を受け再試験があるのではといういろいろな憶測や流言に怯えている会員もいるようで問い合わせの電話に接することもありますので現在免許を持っているものに必要な条文を極く簡単に抜粋し説明しご参考といたします。

（現在免許を持っている者）

六十五年四月一日から新しく法律が施行されても、今まで通りで法律上は全く問題はない。改正法律の附則第七条に、旧法の規定により指圧師免許を受けた者は、新法の規定により指圧師免許を受けた者とみなす。

第八条 既に免許を受けている免許証は新しい免許証とみなす。

第九条 旧法第三条の三の規定による指圧師名簿は新法第三条の二の規定による指圧師名簿とみなし、旧法第三条の三の規定によりなされた指圧師名簿への登録とみなす。

2、都道府県知事は、附則第三条に規定する厚生大臣の告示する日において前項に規定する指圧師名簿を厚生大臣に引き継ぐものとする。

3、指定登録機関が指圧師の登録の実施等に関する事務を行う場合における：
：「厚生大臣とあるのは、「指定登録機関」とする。

（講習会）

第十条 この法律の施行の際現に指圧師である者及び附則第六条に規定する（養成施設、学校卒業者）は厚生大臣の指定する講習会を受けるように努めるものとする。

第十一条 略

第十二条 罰則：略

第十三条 この附則に規定するものの

ほか、この法律の施行に伴い必要な経過措置は、政令で定める。

法改正で新たに条文に加えられたものに法第七条の二 施術者は、正当な理由がなく、その業務上知り得た人の秘密を洩らしてはならない。施術者でなくなつた後においても、同様とする。

以上が法改正の必要箇所を抜粋説明いたしました。改めて講習会を行ない、試験を行なわなくとも自動的に登録機関に登録されるのです。然し治療師の資質

臨床研究科

第三期生募集中

修了者には称号授与

昭和六十二年度より、母校に臨床研究科が開設され、内容も一層充実し現在第三期生の募集を左記の通り行なっている。

学生定員 30名 修業年限 1年

時間割 5日制 土曜日休み

但し金曜午後臨床実習あり
入学資格 あん摩マッサージ指圧師の免許取得者又は取得見込の者であつて次の各号の一に該当する者。

- (1)専修学校専門課程卒業者又は卒業見込の者。(2)各種学校専門課程卒業者又は卒業見込の者。(3)大学、短大卒業者又は見込の者。(4)外国において学校教育12年の課程を修了した者。

聴講生制度、単科選択、復数履修可。

称号授与、指圧指導員、日赤救急看護指導員資格、基礎医学、臨床医学、東洋療法、リハ概論、実技、教養(栄養学他)

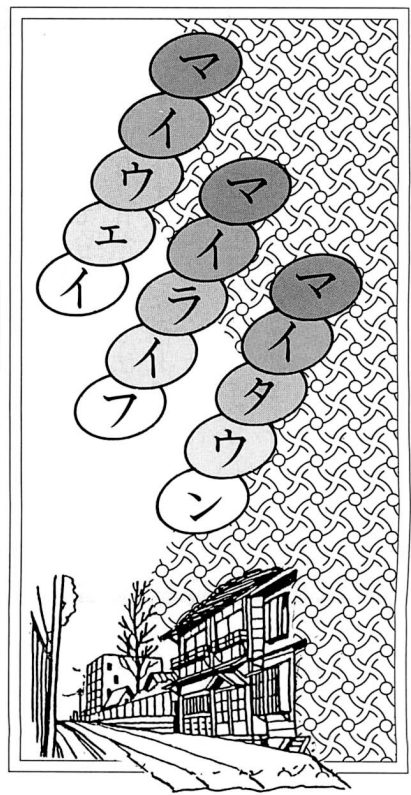
の向上ということとで六十五年以降養成期間が三年制度となりレベルアップにもなり実質的改善になっていくわけですから既得権のみにとられず講習会にも卒業参加し資質の向上に努めなければならぬ。それゆえに改正法第十条に規定義務づけられたものである。

同窓会員のなかに組織に加入されておられない方はこの際、日本指圧協会に加入され講習会開催の通知洩れとならないように希望いたします。

啐啄の機

絶好の機会、もし逸すれば二度とおとずれることのないような好機の意味である。もとは禪家のことばで出典は「碧巖録」第十六則「鏡清啐啄機」に「是誰同啐啄」(是れ誰か同じく啐啄す)とある。教えを受ける学人と教える師家の心が投合し、完全に一致する境地のたとえであった。

この比喻のもとになつてゐるのは卵の孵化(ふか)である。かえろうとする雛が殻の中からつついて音を立てる。これが啐(つ)地方、外から母雛が殻をつつくのが啄(たく)この両方の呼吸がびたり合つて雛は首尾よく陽の目を見る。もし母雛のつつくのが早過ぎれば、卵の中はまだどろどろで雛は死んでしまう。逆に啄がおくれると中の雛は呼吸ができなくて生きてはいられない。まさに千番に一番のかねあいである。自(術者)と他(患者)が同調したときのみ啐啄の機が生まれる。この啐啄同時の境地を指圧では極意とされている。



学院六期生 9期聴講生
川上 よし
(旧姓 前島)

浪越徳治郎

校長の昔の顔

—その3—

校長先生の昔の顔をさがしていると当然私の顔も随分古い時代の人であることに気がつきます。現在の校長先生を知ってる若い方々には昔の話は珍らしくもありません。でも、温故知新とかふるきをたずねて、新しきを知ると云うことも大事かも。お話ししましょう。私をはじめ幼稚園に就職した年は東京に住んでいましたので、指圧学校の研究会にもよく出席しました。或る時母校の幼稚園師範科の後輩から、休みの日に指圧を教えに来てほしいと頼まれ、「いい、でしょう」とよろこんで返事をしてしまいました。ところが私の園長は

「貴女お休みの日をお休みと思っただめよ、次の週の用意の一日ですよ、そんな仕事しちゃだめ」としつかり釘をさ、れてしまいました。指圧学校に行った時、「うちの園長にこれこれで止められてクラブ活動の一つに指圧を勉強したいと云うのに行けないんですよ」と話したら、私が行ってやろうと、さりげなく引き受けて下さり、一月から三学期中東郷先生をお連れになり学校まで通って教えて下さいました。その時の卒業写真と実習風景の写真を、それぞれに渡すことの出来ない程空襲がはげしくなり、私は子供と軽井沢へ疎開する。卒業した師範科生は、各地にちりぢりとなりました。その中に朝鮮から来ていた方は就職した幼稚園の園長の神経痛を、「さっそく治しちやうったんだって」と云ううわさをききました。静岡の郷里にかえり就職された方が自宅からお勤めしながらお弱かった母親に指圧をして孝養をなさったと、その父親から後年私がお礼を云われ恐縮したこともあります。この写真の卒業生の中には色々な個性の持ち主が居て、私が指圧を勉強するときいた時、お祖父様の

著書と云う「百病家庭に療中」と云う本を持って来て私に下さり応対してくれました。若々しい女学生達でしたが指圧の先学者的存在でした。各所で幼児教育につくされ今は、よきおばあ様であり社会的には長い経験を通してまわりの人を潤しているらしいです。指圧学校の卒業名簿にない指圧の生徒が沢山居ります。場所に応じ、よき芽を出し、ひ

とによるこぼれています。校長先生の昔時いた種が、ちらり〜と思わぬ所で花を咲かせて人に希望を持たせています。指圧療法って地味なものです。どんな効果があるの？とよきかれても耳に聞かせるわけにいきません。校長先生にならってワッハッハでも。白髪をかき上げながらオホホホに丈夫で明るく生きられるのもね、指圧のおかげよ、って手本



指圧の卒業式 中列左から川上先生(筆者)、東郷先生、浪越先生、功刀(くぬぎ)先生



昭和19年3月指圧実技風景
中央浪越先生

MY WAY
MY LIFE
MY TOWN

臨床研究科を受け持って丸二年、研究科の生徒には新学期第一日目に毎年同じことを云う。
「研究科の講師陣は私を除いてこの道何十年のベテランの先生方です。貴重な臨床体験と長年の御研究の成果をご講義なさいませ。お聞きがし無いようお願いいたします」
○端午の節句頃から見えただまだ若い



十六期生
高橋 和子

臨床研究科日誌

を示すしかない。そうなるとムダのないよい生活をして精進しなければなりません。平成元年一月号の指の光で徹先生がおっしゃって居られます。若いエネルギーをムダに使わないで指導してゆきたい。ムダを出してばかりいてはもったいない、かぎられた時間を大切に生きることこそおろそかに出来ないと思います。十代の末期から見つめていた指圧の効果そのうち、そのうち、にマスターしたいと思っていたところ、もう70余才をかぞえる年令となつて、若いエネルギーをムダにしない様にお言葉身にしみて、若い方々ばかりの支援を送りたい。私もまだこれからの決勝点にゴールインするまで押ししてしまふ。とまいろうと思ひます。

Aさん。

指圧は強くおせば効果があると感
違いつてか、指端がふるえる程圧が
か、つてゐる。そこで・・・力の
入れ方は自分が考えている圧の十
分の一位にしてという。

何回目かですっかり上達。
○底冷えのするある朝、明治生まれ
のBさん、足を引きずりながら登校
「先生、今日は膝が特に痛くて」と
云われる。

伏臥練習の日でもあるしBさん共
々膝窩及び浪越圧点の押しかたを演
習、その時特に念をおす「筋肉が硬
いからといってBさんを押し過ぎな
いこと、過ぎると患者さんは翌日体
がバラバラになった様な感じになっ
て、その日は辛いですからその点充
分気をつけて下さい」と。

一週間に会った時にBさん「や
っぱり体がバラバラになった様な気
がしました」お年のせいとか、少しの
押し過ぎもこたえる様です。

○雨の落ちてきそうな日、体格の良
いCさん側腹部を手で押さえて「こ
こが痛むのですが胆石ではないでし
ようか」といわれる、私生活の事は
まったく不明のこちらは一瞬、御馳
走ばかりおあがりかしらと思う。

座位のま、肩甲間部、同下部を触
診「胆石ではないですね、心配な
らレントゲンを撮ってもらって下さ
い」と、翌週Cさんは欠席、級友よ
り浮肋骨の骨折と聞く、Cさんはそ
の数日前に普段やりつけない運動を
なさった由。

○研究科は美容指圧も勉強する、勿
論「やせる指圧も・・・」

Dさん、Eさん共少々太め、少し
でもなんとかならないかと思いつ、

一年はあつという間に、お二人共相
変わらず・・・。

Dさん、Eさん御免なさい。



二十四期生
太田 博久

指圧と私

私が指圧を知り関心を持ったのは今
から約20年近く前だと思えますが、
日本TV系の桂小金治さんの番組で
浪越校長先生の指圧実技を見た時か
らなのです。指圧の心、母心おせば
生命の泉湧く、アハハハ・・・、あの
声と体から受ける若さ、指圧と云う
ものは実に素晴らしいなあと思ってい
ましたが、其の指圧を教えてください
学校が何処にあるのかもわからない
し、又仕事を持っていましたから。

其の後つい忘れて約10年以上の年月
が流れてしまいました、やはり何
処か心の隅に指圧に対する興味があ
ったのです、今から10年前の昭和
55年に日本指圧専門学校の家理科指
圧教室で実技の勉強をする様になり
ましてね、三ヶ月間週二回。始めの
内は指が痛いやら、右が上だの左が
上だのと指の使い方が良く解からな
いで大変苦労しましたが、三ヶ月の
中頃になってやっと何んとなく指圧
らしくなって、此れなら本科の方で
本格的に勉強してプロになろうかな
と思ひ、当時家庭科で指導して下さい

た木下先生に相談した所、本科の試
験は12月で、学校は2年間で、中間
本試験とプロになる為の資格試験が
あり、其れに合格しないと免許が
おりないと云う事を聞いて考え悩みま
したが、まあもう一度初心にかえつ
て勉強してみるつもりで、本科の試
験を12月に受けて本科生として2年
間専門学校で指圧の実技、解剖、生理、
病理、診察概論、臨床、衛生等基礎
を勉強して来ましたが、実際の所学
校在学中は試験の為に暗記して夢中
で卒業した様な状態でしたが。

今現在私は講師としてよみうり文
化センター産経学園で指圧実技の指
導しているのですが、いざ自分が教
える立場になってみると人を教える
と云う事の難かしさを痛切に感じて
いるのです。在学中は諸先生方の講
義を受けている時など、何を難かし
い事をなぞと思つて聴いていました
が、今思うと本当に感謝しています
卒業後7年以上が過ぎて実際に教え
又治療をして見て指圧の不思議な力
と神秘性に痛感し。其れから、人体
と宇宙の関係。例えば女性の生理の
日数が28日か29日週期が平均です、
此れが月の新月から新月迄の日数が
29・5日では、一致するとか。又呼
吸数、脈数、体温も宇宙と一体なん
です。それは無風の時の海岸に打
ち寄せる波の波長が一分間に9波長
で9+9=18此れが呼吸数で。18+
18=36体温。36+36=72此れは脈搏
数になるのです。本当に神秘的だ
なあと思えてなりません。此れは宇宙
と人間との調和を意味しているのだ
と思ひます。思うに我が母校の指圧
の心、母心おせば生命の泉湧くの言
葉に深く感銘し、此れは調和を意味

しているのではないかなと思われ
てなりません。此れも指圧にふれ学
校で諸先生方に指導していただいた
お陰と感謝しています。此れからも
より一層、精進、努力して定められ
た生命を全とうして行きたいと思つ
ております。



二十四期生
岡林 猛

指圧との出会い

五月下旬と言えは祖国日本ではも
う晩春、そして我が故郷南国土佐で
はそろそろ夏の気配が感じられ、四
国山脈の山並も夏に向つて緑の濃さ
を増す頃である。

然し茲シベリヤ中央部・イルク
ツク州タインエツト地区の奥地では、
零下三〇、四〇度否五〇度も越す冷
酷な厳冬からやと別れを告げて、
シベリヤ大地特有の万物一斉によみ
返り、花開く春を謳歌して居りまし
た。

昭和十六年三月善通寺騎兵十一連
隊に入隊中国大陸へ、やがて太平洋
戦争そして終戦、虜囚としてソ連に
抑留、シベリヤ強制収容所生活も既
に三年目、昭和二十三年の春の盛り
を、只ひたすらに望郷の念に駆られ
帰国の日を夢見ていました。

ソ連抑留者は凡そ六十万人、そし
てタインエツト地区に送り込まれた

旧日本軍人は約六万人とも言われ、
シベリヤ鉄道タインエツト駅より迂
回する、全長約六十キロの鉄道建設
と、其の附帯工事が主な作業でした。
其の日私は四〇数名の部下と鉄道
駅舎の建築に従事いたして居りまし
た。午前の作業が終了昼食、飽食の
現在では笑話でしょうが、餓と重労働
の中にあつて食事程楽し待遠し
い事はありません。ソ連兵の目を盗み
交代で採つて来た、貴重品の様な野
草によつて増量した水の様なスー
プと黒パン、それは現在のどの様な高
級の食べ物にも勝る思いでした。其
の楽しかるべき筈の食後一〇分位過
ぎたでしょうか、突然急激な胃痛に
おそわれました。更に腹痛、胸部の
締めつけ、更に肩甲部から頸部への
こわばり、額には冷汗が出る、強度
の胃痙攣であります。五分板を並べ、
外套を敷いた速成のベットの上で背
を丸め、じつと我慢をしつ、途方に
暮れている時、戦友からの知らせを
聞いて、馳け付けて来れたのは金坂
兵長でした。四十才近い彼は召集兵
で、若い人達が主力の部隊ではオッ
サン／＼で親しまれていました、
私の訴えを聞くと、「私が指圧をして
見せよう」こう言つて自信ありげに、
背部から腰部への押圧を始めました。
元来元気で健康な私であつたので、
胃痙攣はもとより、指圧等全くの無
縁で殆ど承知して無い事で、半信半
疑の所謂溺れるものの藁をもつかむ
思いでありましたが、結果は以外に
も早く現れました。

押圧中嘔吐があつたのも好結果と
思われましたが、約二〇分痛みも
薄れ、夕方ラーゲルに帰る頃は徒歩
にて帰営出来ました。大事を取り二

日間作業を休み、夕食後は指圧治療を続けて頂き、すっかり当初の元氣を取戻す事が出来ました。幸にして私が復員命令を受けたのは、それから数週間後で、ナホトカ經由遠州丸で帰国の途についたのは、故郷土佐を出て足掛八年目の夏でありました。故郷でみかん作りを生業にしていたのですが、故あって上京、本郷三丁目本社を持つ、アトム(株)に勤務中目と鼻の間の伝通院に指圧学校の存在を知り、且つてシベリヤの僻地にて治療を受けた指圧の心忘れ難く、会社からも至近であるのも幸して、日本指圧専門学校の門を叩いたのはシベリヤの曠野で金坂兵長の治療に依って、胃瘻瘻から救われたあの日から、既に三十有余年を経た昭和十五年、当時二十七才の血氣盛りであつた私も、六十才を目前にして居りました。

(私のシベリヤ抑留記より)



二十八期生
小川 俊成

『開業して思う事』

開業して丁度二年になろうとしています。この間いろいろな事を経験してきた訳ですがここでは技術以外の側面について、特に留意した点、心掛けてる点等を述べてみたいと思います。まず最初に行なつた事は『明

るい治療所』イメージを確立するという事です。従来『治療所』というどうしても『暗く、入りづらい』というイメージが一般にあるように感じ、これを払拭し、明るく、清潔で、入りやすい治療所をつくる事が先ず重要だと考えました。具体的には建物、設備を明るいものにし、採光、照明には特に留意するようにしました。又、患者との挨拶も欠かせないものとし、これをしっかり励行すると共に、明るい印象を与えるよう心掛けております。次に重要視した事は患者の『健康観』を自分達に合ったもの即ち、薬を用いないで治療するという手技療法に合った健康観をもってもらふよう指導することでした。一般的に患者の多くは、病氣を治すのは医者であり、薬であると信じ、医師による治療以外を軽くみる傾向があります。実際に体を治しているのは多くの場合、医者でもなく、薬でもなく、患者自身がつている『生命力』若しくは『自然治癒力』である事を説明すると共に薬の恐さについても話をするようにしています。又、『押すだけ』の治療法が何故健康に結びつくのかというメカニズムの説明も必要な事だと思つております。次に治療姿勢としては、健康を得る為には治療家である私共が一方的に治すのではなく、患者との協同作業であるという認識に立つようにはしております。つまり体の歪みは生活上の歪みから生じる場合が多く、これを改善する事が先ず大事であり、患者自身ができる事は積極的に指導し、やって頂くようにしております。又、実際の治療を進めていく上で、患者の抱えている『

不安』や『依頼心』を取り除いていく事は非常に重要な事だと考えております。何故なら『病は氣から』という言葉がある程ですから・・・私共の『健康観』や『生体観』を治療中に全て話すのは難しく、現実的でない為このような考え方を『パンフレット』にまとめ、初診時には必ず読んで頂き、理解して治療を受けられるようお願いしております。治療を行なっていく上で、腕をみがくという事は今更申し述べる必要がない程重要な訳ですが、これに匹敵するものとして『人間性』をみがくという事があるものと思ひます。自分が『先生』と呼ばれ、『治療家』として大成していく為にもこの事は重要な要素になつていくものと思ひます。人間性にひかれ、人が集まつてくる場合もあり、逆に腕がたつのに人間性が嫌われ、人が遠ざかつていく場合もあります。開業当初はどうしても技術的側面が心配になる訳ですが、技術向上を計る為にも、人を集め、治療の機会を確保する工夫が必要となります。『腕をあげる』という事と『患者数を増やす』という事は『鶏と卵』の關係に似ており、開業当初は腕以外の要素で勝負し、経験に応じ、総合力で勝負するとうい発想も一考に値するものと思ひます。誰でも最初は『ヘタ』なのです。最後に自分自身の問題として、重要と思つている事は『治病原理』をもつと言う事です。薬物療法には『薬理』というものが有り、これが良識ある患者への説明となり、安心感を与える結果になつております。同様に自分の行なつている治療法においても患者を納得させるだけの『治病

原理』が必要であり、それがあつて初めて患者への説明ができるものと思ひます。患者は単に体を押しもたらうだけでなく、説明、指導を待っているものと思ひます。末だ、かけだして夢のような事ばかり書いてしまいましたが、以上の事を自分の努力目標として、心掛けていこうと思ひております。又、治療所を経営するに当り、どのような客層を狙うかにより、その経営スタイルは決まってくるものと思ひます。結果的私共の小治療院には自分の治療理念に理解をもつてくれる人(薬嫌いが多い)のみが残り、気持良く治療の日々をおくらせてもらつております。書きたい事は他にも多々あるのですが紙面の都合で特に思ひつた事のみを記述してみました。これから開業を旨とする後輩諸兄の参考になれば幸いと思ひます。



二十九期生
三浦 通代

人に喜んでもらえる実感！

思い起せば、6年前になるでしょうが、その頃新聞、雑誌等で、高齢化社会の事が報じられており、考えさせられるようになっておりました。それまでも色々免状を持って、お嬢様方に、お琴などを、教えたりしていましたが、何か中途半端で、

ものたりなく思つておりました。このままではいけない。何かしなければいけないというあせりのようなものが、心の中に広がつてきていました。

何か人に喜んでもらえて、自分のためになる仕事はないかと思つていた時、友人に誘われて、指圧の手ほどきを受けました、その時、ひらめいたのです。これが、私の探していたものだ、どうせやるなら、資格を取るまでやってみようと思ひ、60年4月に入学しました。

色々困難な事は、色々あるだろうが、どうせやるならトコトンやろう、決心したら、やるっきゃないで、本当にがんばりました。

雨の日も、雪の日も、一日も休まず、毎朝7時には、家を出て、せつと学校に通いました。

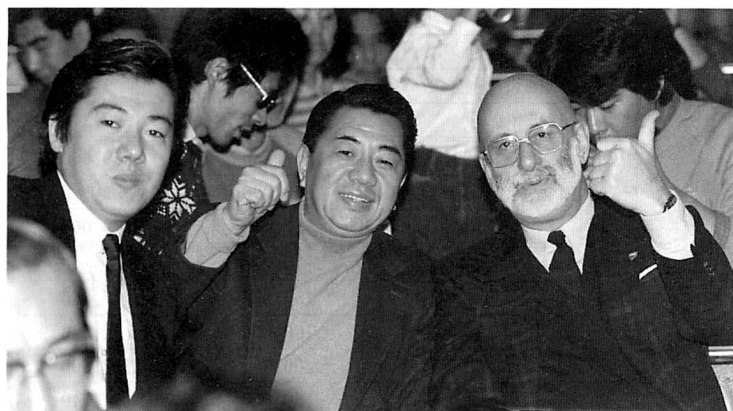
二十数年ぶりの学生生活は、苦勞もありましたがとても楽しく、張りのある二年間でした。

学校生活を通じて得た、貴重な体験は、人間やろうと思えば、もう年だ、とか、今更何をやっても仕方がない等と言う事は無いのだ、ということ学びました。

昨年開業して、現在は、張りのある、充実した毎日を過しております。まだまだ未熟な私ですが、真心をこめて、その人の立場に立つて、どうしたら喜んでもらえるかという事を心がけております。

初心を忘れずに、これからも励んで行きたいと思つております。

同窓会総会案内16頁六
月十一日、出席下さい。



デニス・ピンクス先生と左 長男の孝先生



浪越 徹

オランダで赤ちゃん指圧セミナー

指圧国際大会で毎回、講師としてユニ

ークな研究発表をされているオランダのデニス・ピンクス先生から先日、私宛にまたユニークな便りが届きました。以前の会報でもピンクス先生の無痛分娩の指圧を紹介したことがあります。さて今回はピンクス先生の指導による赤ちゃん指圧とストレッチングのセミナーです。参加者に等身大の赤ちゃん人形を用いての実習でピンクス先生のテクニックをもとに赤ちゃんに対し気持ちよくあたるよう触れるような掌圧、母指圧、二指圧、三指圧できめこまかく施術しこれにより消化力をつけ、便通をよくして抵抗力をつけ、ストレッチングでは軽く、ゆるく、ゆっくりと上肢、下肢の屈伸、関節運動によって骨格を正常にします。このベイビー指圧セミナーはピンクス先生の学校で開催され大好評のもとに続けられています。ピンクス先生の指圧センターを訪れる患者の大半は病院の医師からの紹介によるもので内科では消化不良、内臓下垂、便秘、神経性胃痛。整形外科では外傷による後遺症、小児のO脚、X脚、先天性筋性斜頸など。神経科ではノイローゼ、不眠症などです。

これもオランダが日本に近代医学を紹介した「蘭学事始」と何かの縁ともいえます。本日、平成元年2月27日、私宛にピンクス先生より誕生日おめでとうの電報が入りました。サンキューベリーマツチ、ピンクス先生。



▲デニス・ピンクス先生の赤ちゃん指圧と受講生



◀等身大の赤ちゃん人形で指圧の練習

会報 原稿募集

- ①近況、体験、随筆、我が故郷便り等、原稿用紙三枚程度、内容によって追加可。
- ②「同期会、クラス会便り」八百字以内。
- 合同写真掲載希望は同封。各期役員、クラス幹事の方お願いします。
- ③投稿は原稿用紙で必ずお願いします。
- ④宛先——日本指圧専門学校、同窓会会報編集委員宛。◎住所、氏名、期、電話番号を明記。◎切期日毎年一月末日。原稿は返却しません。不悪御了承下さい。

日本指圧専門学校 同窓会 決算書

(自 昭和63年4月1日
至 平成元年3月31日)

支出の部

科目	内 訳	63年度予算	63年度決算
会議費	総会費	800,000	887,045
	役員会費	50,000	3,200
	計	850,000	890,245
事業費	会報発行費	1,387,150	960,000
	会員名簿費	200,000	0
	計	1,587,150	960,000
本部費	人件費	10,000	0
	通信費	150,000	47,450
	印刷費	100,000	11,500
	渉外費	200,000	163,000
	交通費	50,000	1,740
	慶弔費	10,000	0
	事務用品費	20,000	110
	雑費	10,000	0
	計	550,000	223,800
	予備費	200,000	0
支出合計		3,187,150	2,074,045
次年度繰越		974,688	2,504,630
支出総計		4,161,838	4,578,675

収入の部

科目	内 訳	63年度予算	63年度決算
会費	終身会費	1,250,000	1,530,000
事業	総会懇親会費	480,000	645,845
雑収入	預金利息	50,000	70,992
	その他	50,000	0
	計	100,000	70,992
	前年度より繰越	2,331,838	2,331,838
収入総計		4,161,838	4,578,675

決算付記

協賛金賛助者

ご芳名

収入の部

○終身金費(一年次、一人当五千円、二年次同五千円)

三期生 A組 六八名分

B組 五六名分

二期生 A組 六八名分

B組 五七名分(二年次分も六三年度中に納入)

○総会懇親会費

六千円×九九名

○総会ご祝儀

浪越徳治郎校長から一万円

浪越和民先生から一万円

小山福松先生から一万円

小林久夫先生から一万円

田村鉦二先生から六千円

支出の部

○会報発行費

七号発送 四、二〇〇部

八号印刷 四、八〇〇部

○渉外費

堀武治郎先生葬儀生花代 三万円

同 学校葬生花代 一万円

佐藤岩次郎先生都民功労賞受賞祝金二万円

川上春治先生叙勲祝金 二万円

指塚供養生花代 一万円

学校体育祭は今年度中止

山内同窓会長、夏期大学懇親会、新年会会費各 一万円

○通信費

学校へ電話使用料として三万円

○印刷費

学校へゼロックス使用料として六千円

○次年度繰り越しの内訳

貸付信託として百万円

金銭信託として六一三、二八八円

郵便振替口座残金 二、三六〇円

郵便貯金 八八九、一四二円

以上

平成元年三月三十一日

会計委員 青木 宏

同窓会協賛金制度は昭和六十三年二月末現在の御入金金額は次のとおりです。領収証がわりに入金額別御芳名一覧表を掲載させていただきます。

昭和六十三年年度入金金額

◆昭和六十三年年度入金金額と累計

昭和六〇年度 四四三、〇〇〇円

(郵便手数料 五、四五〇円)

昭和六一年度 三〇九、四〇〇円

(郵便手数料 四、一四〇円)

昭和六二年度 四三一、七八〇円

(郵便手数料 四、三一〇円)

昭和六三年度 四一八、〇四〇円

(郵便手数料 五、一四〇円)

四カ年合計一、六〇二、二二〇円

(郵便手数料 一九、〇四〇円)

◆昭和六三年度協賛金入金一覧

(順不同、敬称略、カッコ内卒業期)

①現金入金、②郵便振込

(二万円)七件。②佐藤利吉(12)、

小峯俊夫(14)、井上征夫(20)、小美濃隆(21)、佐々木政三(21)、井尾栄(22)、田島市五郎(23)。

(五千円)二三件。①柴山一郎(学)、

稲場啓護(3)、水岡道三(7)、藤井正弘(8)、山内貞四郎(10)、高野正之(10)、高橋福見(24)、②川上春治(1)、福沢司津江(1)、石原博司(4)、村山好政(7)、長谷川貞男(10)、加藤たけ(12)、鈴木みさ子(14)、岡末八郎(15)、田中保(17)、齊藤良知(17)、浜中喜美子(18)、湯沢洋二(22)、西千鶴子(22)、山田滋(24)、沢畑碩亮(25)、増田清(29)。

(四千円)二二件。②浪越徹(学)、

持本光子(1)、佐藤栄江子(2)、石垣惟一(6)、佐藤岩治郎(6)、大西寿(8)、小林彦太郎(15)、浪越満都子(16)、高橋和子(16)、国田イト子(16)、小林秋朝(17)、上野欣二(17)、木下誠(18)、江戸妙子(19)、藤田一彦(20)、片岡弘昌(21)、山田明信(23)、浪越孝(27)、川原善次郎(27)、②嘉義了久(10)、山口忠治(18)。

(三千円)二九件。②青木雅美(3)、

鈴木孝雄(3)、根岸とき枝(4)、船田弘子(5)、赤沢えい(8)、藤井トシ子(8)、工藤てる(11)、田村親郷(12)、橋本長五郎(18)、舟島正八(20)、有原五月(24)、村井美枝子(24)、②相沢君江(1)、辰馬富美(1)、前川磯文(9)、山内澄子(15)、阿部はるみ(18)、小谷典次(20)、堀田祐晴(20)、伊藤信一(21)、小川久子(21)、黒岩広吉(21)、渡辺利雄(21)、今野健八・同京子(22・24)、松本桂一(25)、金橋寿郎(25)、関森昭直(29)、大村幸一(29)、吉村哲(30)。

(二千円)二二件。②石原雪江(1)、

藤田和子(3)、前田フサ子(16)、松田節子(18)、中沢要蔵(18)、青木宏(19)、斎藤章司(24)、岩井幾男(25)、小山輝男(27)、②荻原三四子(4)、大本信芳(4)、佐賀六郎(15)、山口徳蔵(15)、太田健二(17)、時田清雄(18)、大沢登(18)、大島喜一(19)、真木高美(19)、鈴木好雄(20)、松本仁美(25)、林五郎(26)。

(千四百円)一件。②熊谷誠司(29)、

(千円)一九件。②久保田紀代子(18)、斎藤鶴男(19)、渡辺誠司・泰子(22)、高沢佐恵子(25)、片野和夫(29)、小石沢正弘(29)、渡辺昇(30)、河合秀雄(30)、石川明子(30)、総会時不明一名②長野寿一郎(9)、山中武(10)、久保田義人(18)、三好英子(19)、青木豊(20)、今泉英雄(21)、古川静江(29)、熊谷誠司(29)、小笠原瑞枝(30)。

副幹事長 上野欣二 記



第十七期会

十七期会の第七回同期会を今秋開催したいと計画中です。内容は参加人員によって二案企画しています。(一)案は旅行、(二)案は都内、具体化しましたら皆さんにご連絡申し上げます。その節は奮ってご参加下さい。

【訃報】青木広二先生(C組)一月五日逝去
自宅 越ヶ谷市西方三〇三四

電話 ○四八九一八七―七五〇七

十七期会では七日(土)自宅へ代表がお悔みに出かけ名物男の在りし日をご家族の皆様と偲びながらお別れをさせていただきました。志賀とみ子、佐藤文子、幹事長上野欣二、会長小林秋朝(A組委員戸米宮子、B組委員広村いと、兩名の香典持参)

九日本葬に高橋弘安氏が葬儀に参列した。

小林 秋朝記

第十九期B組 (徳美会)

卒業後10年の節目に、中里さん桜井さん等を中心にして19期B組クラス会(徳美会)が開催された。

前回の会報に間に合わず、時期のずれを深くお詫び致します。

私共昭和52年3月卒業の19期Bクラス



19期B組 62.10.11 西新宿さくら正にて



21期B組 浪越徹先生を囲んで

は卒業以来3回目のクラス会を昭和62年10月11日西新宿「さくら正」で18名の参加のもと旧交を温めた。協会、学校の現況等協会理事、同窓会運営委員佐藤元祥(博)氏の説明あり、浪越校長先生の益々のご健勝を寿いだ。次回は一泊予定ということで幹事一任再会を約し散会。

(出席者) 石井、池永、氏家、江戸、

小川、岡田(茂)、桜井、佐藤(博)、滝本、

苦淵、中里、中村、花輪、比留間、松本、

三好(英)、吉田(武)

以上

第二十一期B組 (クラス会)

佐藤 元祥記

「二次会のお酒は純米酒、おつまみはフランス製カーマンベールのチーズですよ!!皆さん御参加下さい!!」との幹事の声を宴会場をあとにし、皆二次会会場に席を移しました。

九月十四日南熱海ホテル、シャトーテール赤根崎に於て一泊旅行を兼ねて二十一期B組の十年振りのクラス会が行なわれました。

幹事代表、高野助二氏の呼びかけにより十八名参加致しました。なお、浪越副校長先生に御出席いただき全員が自分でできるスポーツ指圧(徹先生著者)の御本を頂戴いたしました。参加者の中には遠く広島、岡山県より馳せ参じ、宴会はかなり盛りあがり想い出話しに花が咲き十年一昔といえども三十分もたれば指圧学校時代の顔に戻りました。この日は台風が関東地方へ向って直撃する予報でしたが我々の気炎のせいかわ再び太平洋の方へUターンしてしまいました。海は男らしく荒れていましたが見晴しの良好な大風呂に入りながら岩にくだける荒波も又格別でした。

翌日は、小田原城見学者と直帰者で熱海駅にて無事楽しく散会致しました。

高木 次郎記

第二十四期A組 (錦絵会)

日本指圧学校二十四期A組錦絵会は、

七月七日、七夕祭の日、町田市トロン保健センターに於て開催と案内する。平日日帰りの初企画でしたが、各位のご理解と熱意により二十七名参加の盛会となった。十一時現地集合、入浴し、ゆかた姿で十二時より中広間にて顔合せ早速会議に入る。幹事長山田滋先生より、母校関係のニュース外現況説明あり、二あん摩マッサージ指圧師、ハリきゅう師等に

関する法律の一部改正(改正の趣旨目的)の資料を提供され資質の向上を説かれる。三錦絵会の内規に就いて検討之を決議する。続いて講師として国行益悦先生、肺炎について自己体験発表とその他、河井省三先生の中国留学、指圧と健康の講義、関智四郎先生の運動まめになりましょう。運動量のわかるガンバルメータの資料配布、説明講義あり十三時懇親会に入る。関先生の発声で一同乾盃、カラオケ等の用意あるも語るが先とばかりか、各位学生時代と変わらず、楽しくも時は駆け足の如し、十六時解散。残留類を以て二次三次会と別れはつらい、代理の効かない錦絵会は楽しい集会だ、各位諸々の都合あるも又遠近を言わずに繰合せ出席されるに感謝し、不馴れ不備ながらも次回も幹事長山田滋先生を軸に渡辺も事務書記を担当させて頂くことになる。各位の健康、指圧施術師として資質の向上、本会の存続益々の発展を念じつ、駄筆を止む。

渡辺 定文記

第二十四期B組 (茜会だより)

過ぎた昨日は永遠につかまえられない。川の流れの如く。

今・今・今が続くだけ。

それを中今という。

第七回目の茜会は、青梅市にある国民年金保養センターで開きました。

紅葉が始ったばかりの奥多摩街道に面したこのセンターは、美しい川の流れに面した場所であり、気分は上々。

午後からポツ／＼集った友々と一年振りの再会をなつかしみ、お腹のすいた所ので出席者全員で乾杯をし、おしゃべりに花を咲かせました。

このお風呂は窓を開けると、森林と川の流れが眼下に眺められ、とてもロマンチックでした。

二日目は多忙な人は帰路に着きました。が、ほとんどの人は青梅市にある御嶽神社に行き久々に山路を歩いた人が多く、又来年もお元氣な笑顔でお逢い出来る事を約し、別れを惜しみました。

この茜会に毎年出席している秋田の黒沢様からは、秋田名物の真赤で美しい風味豊かな「おりんご」がいつも宅急便で会場に届き私達の到着を待っているのです。この美味しい「おりんご」が三十年後も、四十年後も、続いて茜会員の心をなごませてくださる事を期待しお願い致します。

第八回目の茜会の会場は、又同じこの保養センターに決定いたしました。一人でも多くの方々のご出席を、お待ちしております。

平成元年二月十日

馬場 今朝美記

第二十五期C組(クラス会)

第六回クラス会が十月十六日六時飯田



25期C組 浪越校長、小林秋朝先生を囲んで

橋駅隣のセントラルプラザ二階割烹「げんない」にて発足以来始めて浪越徳治郎校長先生をお迎えして、担任の小林秋朝先生と共に同期の荒井、飯島、磯貝、内川金橋、片瓜、小川、沢口、代田、高澤、鶴見、堂谷内、中澤の十五名が出席され開催されました。中澤の開会の辞に引きつづき校長先生にお言葉を頂き、乾杯のあと宴会に入りお互いに懐かしい話しが尽きることなく会場一杯に広がりました。校長先生の映画テレビ出演の裏話をたくさんお聞きでき、なかでもピートたけしの番組でハワイのロケ中、日本からハワイ旅行に出掛けていた若い女性群のサイン攻めに会い、一時間も釘付けにされた様子や、校長先生の相変らずのスーパースター振りとともに御健康振りには目を見張るものがありました。宴会ではビールで乾杯して日本酒でしばらく差しつ差されつした後、ウイスキーを水割りにしてお飲みになられ、お宅にお帰りになればブレンダーで仕上げをなさるとの事、今も変らぬ酒豪振りに私共新ためて指圧宗家が指圧の効果をもつて実証して

おられると確信致しました。又小林秋朝先生の若い頃の山男は有名ですが、最近ハヨットを愉しんでおられる様で、小型船舶操縦士の海技免状も取得され、外洋クルージングの夢や、指圧と海のロマンなど楽しいお話し一杯のクラス会でした。二次会はシュークリームとコーヒード締め再会を約して散会致しました。

中澤 雅啓記

第二十五期D組(若草会)

昨年3月26日第6回若草会クラス会を文京区民センターで開催しました出席者15名高橋邦夫正子夫妻は子供さん二人同伴で出席。

三次回のクラス会は平成3年に我々の日本指圧専門学校入学10周年目に盛大に開催する。とに決定しました御期待下さい。三級友の動静

① 相川勇一君

鹿児島県出水市大野原町1551の郷里に帰り整形外科病院勤務

② 高桑和行君

福島県会津坂下町字台ノ下734

③ 葛西定吉君(新江口)埼玉県新座市野

火止11223年前結婚

④ 堀本稔男君

62年よりニュージラランドに行き現在オーストラリアで活躍中で今年中に帰国予定(西岡君より連絡)

⑤ クラスの最長老としていろいろと御指導頂いた藤井利勝さん、昨年3月心筋梗塞で死亡されました行年79才。今年1月31日奥様より御連絡頂きま

した、謹んで冥福をお祈り致します(63年3月心筋梗塞)

四、転居先不明

清水寛、前田俊雄、山下輝司君の住所御承知の方御連絡下さい。

五、昨年秋日本指圧協会に業界の活性化のため青年部会が結成され、浪越徹先生の長男孝先生が部会長に就任されて三代目としての勉強と実績をつくり上げることになり、部会長を補佐するため4名の副会長が選任されました。その一人として我が級友稲葉豊君が指名されました。

本人もその重責を痛感し張切っております。クラスとしても誠に名誉なことと同君の活躍に今後大いに協力と御支援をお願いします。

小川 清記

第三十期生会の開催について

三十期生の皆様如何お暮しですか。卒業して一年が過ぎました。

今年度の母校の同窓会総会に当り、私達三十期生が、同期生会として参加し、総会を盛り上げると共に、お互いの語らいの場したいと思います。多数の方々の参加をお願いします。参加要領については同窓会開催の細部が決り次第各クラスの代表より夫々ご連絡申上げます。(二次会も予定)

尚皆様の近況を早めにお知らせ下さい。平成元年一月 第三十期生代表

A組 河合秀雄
B組 渡辺 昇

平成元年度日本指圧専門学校

◆同窓会通常総会・懇親会のご案内

左記により同窓会総会を開催いたしますのでご出席下さいますようお願いいたします。同窓会会場案内図

平成元年三月

日本指圧専門学校同窓会会長

山内貞四郎

記

一、とき 平成元年六月十一日(日)

開会 一・〇〇〜五・〇〇

一、ところ 茗溪会館(電話九四三—〇三二二)

(地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅)

下車徒歩一分 地図は下記

一、内容 総会(一・〇〇〜二・二〇)

記念講演「老人性痴呆の予防」

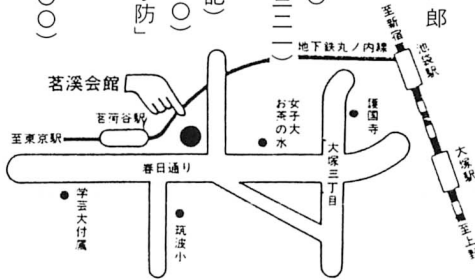
筑波大学助教授

井上勝也先生

懇親会(二・四〇〜五・〇〇)

一、会費 七、〇〇〇円(当日も可)

一、申込 同封の振込用紙にて会費前納して頂きますと受付事務混雑が防げますのでご協力の程切にお願い申し上げます。同封の申込はがき(切手不要)に出欠を明らかにして六月七日までに必着でご投函下さい。申し込み人数にて準備を進めますので。総会と懇親会の間合同写真。



新刊紹介

佐藤岩治郎著

現日本指圧協会専務理事の重責を担い後輩の指導にあたり「誰でも痛みが止められる掌圧療法」では掌圧法の治効と重要性を論じている。

痛みがヒタリ止まる
指麻酔
安心と快楽の姉妹書

痛みがヒタリ止まる
指麻酔
マキノ出版 980円

誰でも痛みが止められる掌圧療法
経絡指圧センター刊 1,400円

同好会だより

●ゴルフ同好会

年二回春夏「徳治郎杯」ゴルフ大会を開催。シングルプレーヤーもいて年々レベルも向上。ナイスボールもあれば、トラブルショットの珍プレーあり、愉快なゴルフを通じて旧交を温めています。

日本指圧専門学校内 芦原 滋

●スキー同好会

毎年上越国際スキー場で雪山賛歌のシュプールを描きながら小林秋朝、木下誠両先生、在校生を中心にメガネ猿よろしく年齢を越えた滑りを楽しんでいます。

日本指圧専門学校内 木下 誠

●テニス同好会

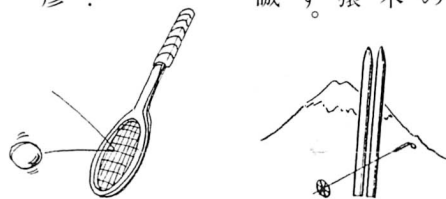
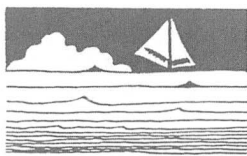
都銀ギヤル達と対抗戦多し！
テニスができれば体力保証シマース！

鈴木 信彦

●マリクラブ設立準備中

「荒ぶる海に微笑みとロマンを求めて」
六月、三浦半島にてヨット一艇で発足。将来はクルーザーでクルージング、洋上ランチ、海の幸を囲んで指圧談義や、楽しいパーティ、転針ヨソロー、針路浪越島！海と自然と友に乾杯！

日本指圧専門学校内 小林 秋朝



編集後記

今年も優秀な三十一期生が、三月五日学窓を巣立っていった。昭和で入学、平成でご卒業、想い出多い二年間であったことと存じます。卒業式のフィナーレ、乾杯！ 遙か長い道のりを、歩き始めた 君に幸せあれ！ その写真が「指の光」の表紙を飾り感激も新た、同窓会も頼もしい仲間が増えて心強い限りです▼短い春休み忙中閑ありと、雄大な残雪の富士と懐かしの谷川岳へ、若かりし頃ザイルを背に通った登山道にはまだ雪が残っていた。下って水上温泉の清流は昔と変わらず、大渦のうずまきあがり音もなし、うねりなだれて岩をへども(若山牧水) 情感そのままであった。▼東京に帰れば桜花満開、友と夜桜見物へ、千鳥ヶ淵から眺めた皇居の桜は値千金でした▼来年二月十一日学校は創立五十周年を迎え、記念行事が計画中和聴いています。浪越校長先生、諸先生、同窓こそって慶祝し、集い逢う日であります様祈念しています▼さて会報も皆様のご協力の基に平成元年を迎え、無事に末広りの八号発行となりました。会報発展のため今後とも叱咤、激励、ご指導の程お願い致します。



会報編集委員長
小林 秋朝